

鹿児島県漁海況週報

平成24年2月16日発行(2月9日～2月15日)
第2443報【旧暦:1月18日～1月24日/月齢16.8～22.8/潮汐:中潮～小潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218
HP: http://kagoshima.suigi.jp/

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、2月15日現在、屋久島御崎の南5マイル付近にある。

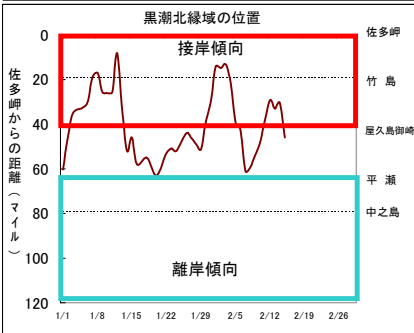
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、2月14日現在、50マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、黒潮流域、屋久島御崎、与路島、与論で0.1～0.7℃昇温し、笠利崎で変わらず、その他の海域で0.2～0.9℃降温した。

平年比較では、屋久島御崎で“やや高め”、佐多岬、竹島で“やや低め”、その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	21.8	+0.3	+0.1	平年並
鹿児島	15.8	-0.4	-0.3	平年並
佐多岬	17.0	-0.2	-0.8	やや低め
竹島	18.4	-0.9	-0.8	やや低め
屋久島御崎	20.7	+0.7	+0.9	やや高め
中之島	21.3	-0.2	+0.0	平年並
笠利崎	20.5	+0.0	-0.3	平年並
与路島	21.0	+0.1	+0.2	平年並
与論	21.4	+0.4	+0.2	平年並
飯海峡	-	-	-	-

鹿児島一那覇定期客船観測は2/15～2/16
串木野一飯定期客船観測は船の定期検査により欠測

【漁況】

○定置網

甌島海域では、ゴマサハ(300～600g)が100kg/日、メジナ(0.6～1.0kg)が多い日で200kg、アカマス(400～500g)が多い日で100kgの入網。西薩南部海域では、1日のみサンマが500kgの入網。鹿児島湾口薩摩半島側では、マアジ(50g)が多い日で2.4トンの入網。鹿児島湾口大隅半島側では、週計でゴマサハ(100g)が500kg、マルソウダ(300～400g)が700kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で56統がスルメイカ、カクチイソ、ブリ主体に32トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でカクチイソ、スルメイカ、アヲオ主体に4.1トンの入網。

○ブリ銅付け

鹿児島湾口薩摩半島側では、6kgサイズを20～30尾/統・日、8kgサイズを10尾/統・日の漁。

○トビウオロップ曳網

種子島海域では、大トビを90箱/統・日の漁。屋久島海域では、大トビを24～42箱/統・日の漁。

(まき網、専受網、カツオ平釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

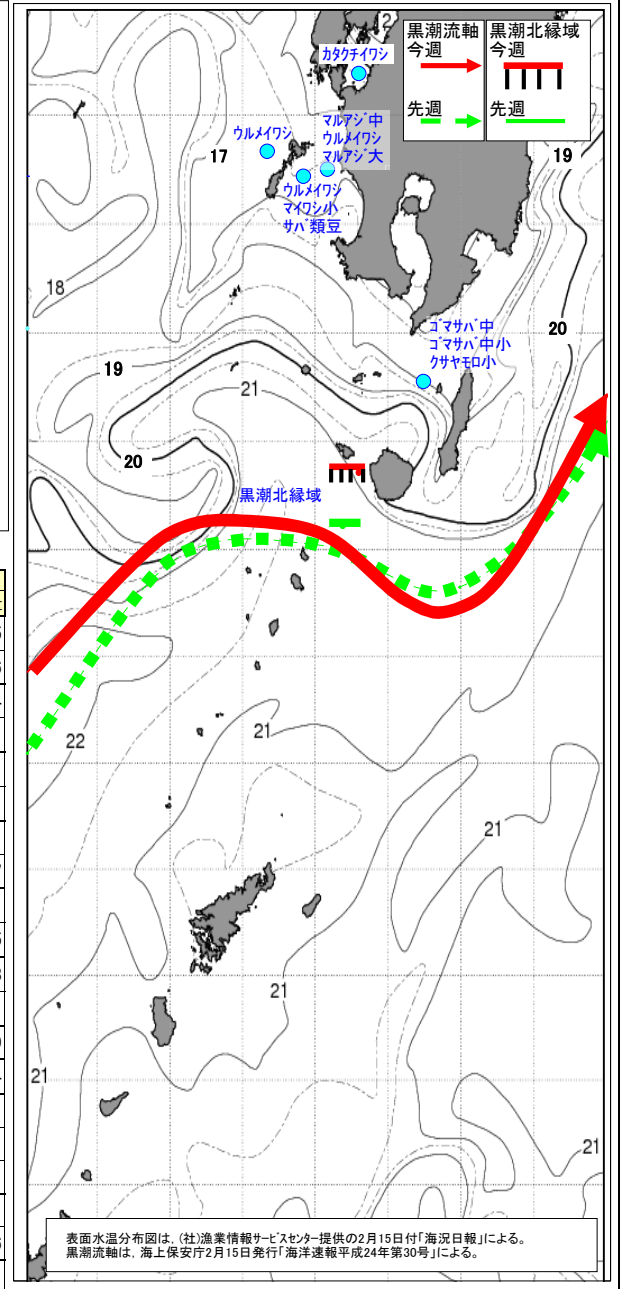
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	※前年同期(第2394報)				
						1日1統	前週隻数	前週漁獲量	前年同期隻数	前年同期漁獲量
旋網	阿久根	大	2	12	マルアジ中30 ウルメイソ18 マルアジ大18	6.0	0	—	4	95
		中	6	24	甌東 串木野沖 長島 甌西	4.0	3	9	3	46
	枕崎	大	1	76	馬毛島	76.0	1	17	11	864
		中	12	372	馬毛島	31.0	1	32	16	401
	内之浦	中	0	—	—	—	0	—	0	—
	山川	中	0	—	—	—	0	—	0	—
	計	大	3	88	—	29.3	1	17	15	959
		中	18	396	—	22.0	4	41	19	447
	東海旋網	阿久根	0	—	—	—	0	—	0	—
		枕崎	2	498	クサヤモロ中小46 ゴマサハ豆31 マサハ豆19	249.0	1	113	3	675
棒受網	阿久根	18	18	阿久根沖 長島	1.0	6	15	14	33	
	内之浦	0	—	—	—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	56	32	スルメイカ55 カクチイソ11 プリ6	0.6	47	25	43	29	
刺網	阿久根	71	3	甌 阿久根沖 牛深沖	0.0	31	2	72	4	
カツオ平釣・海外旋網	枕崎	大	0	—	—	—	0	—	0	—
		小	0	—	—	—	0	—	0	—
	海旋	0	—	—	—	—	2	644	0	—
	山川	中	1	2	カツオ小58 キダダ41	2.0	0	—	0	—
	瀬戸内	小	—	—	—	—	—	—	—	—

○キビナゴ刺網

甌島海域では、2～4箱/隻・日の漁。鹿児島湾口大隅半島側では、2～3箱/隻・日の漁。種子島海域では、2～3箱/隻・日の漁。

○その他

西薩海域では、刺網でヒラメ(0.8～1kg)を10～50kg/隻・日、延縄でマダイ(1～2kg)を7～8尾/隻・日の漁。西薩南部海域では、刺網で1日のみサワラ(2kg)を40尾/隻の漁。鹿児島湾口薩摩半島側では、曳縄でカツオ(2kg)を多い船で50kg/日の漁。志布志湾海域では底曳網でハモ(0.5～1.5kg)を多い船で20kg/日の漁。熊毛海域では、一本釣りでマダイ(2～5kg)を5～10尾/日、ゴマサハ(600g)を40～50尾/隻・日、マダイ(5～6kg)を多い船で400kg/日の漁。奄美南部海域では、旗流しでソデイカ(胴体のみ11～12kg)を2日操業で20ハイ/隻、3日操業で30～60ハイ/隻、5日操業で50～80ハイ/隻、7日操業で200ハイ/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の2月15日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁2月15日発行「海洋通報平成24年30号」による。